

昭和こよう会便り



令和5年度を振り返って

会長 高島 善行

令和5年5月にコロナの位置づけが5類感染症になったことに伴い、本年度は殆どの行事等がコロナ前のように出来るようになりました。4月の3年ぶりの総会開催に始まり、土鈴作りは、昨年度は中止しましたが、本年度は5月に竣工された名古屋ライトハウス光和寮で6月～8月に3回実施でき、9月の「遊びの広場」と10月の「昭和区区民まつり」に活用できました。また、行事についても久しく実施できなかった日帰りバス旅行を、6月に富士見高原リゾート入笠山へ22名参加で実施できました。このように徐々にコロナ前と同じように活動できるようになった令和5年度でした。次年度は、37期鯨城学園卒業生がより多く入会され、さらに充実した活動ができればと願っています。

鯨城会活動

鯨城会16区フェスティバルに参加して

28期 (国際) 吹上 吉田 公吉

11月16日(木)開催の第6回鯨城会16区フェスティバルに、総務委員長の山田さんのお誘いで参加しました。会場は東スポーツセンターで、おそらく平均70歳超えの鯨城会メンバー500名以上集結しました。第1回16区フェスティバルは、当時28期国際専攻の河合会長の発案と記憶しております。



ボッチャ会心の一投?

私は開会式後、準備体操して、○×クイズ、龍の玉送り、玉入れに参加しました。

お昼は1000円の八百彦の美味しいお弁当を頂き、多少疲労感はありましたが、楽しめました。

まるで高年大学名前のごとく、高齢者500名以上、16区に別れ、各区のベスト着用しこの様なフェスティバルが日本にいくつあるのでしょうか?

アトラクションとして民謡踊りが会場いっぱいで開催されました。閉会式の成績発表で、我が昭和区鯨城会は、2位同着と奮闘しました。



細野会長あいさつ



民謡踊り

終了後、6名にて御器所の安い居酒屋にて打ち上げ、6時に帰宅、楽しい1日でした。

今後も鯨城会16区フェスティバルの継続を希望し、同窓会気



龍の玉送り

分で体力のある限り参加したいと思えます。細野会長はじめ、実行委員関係者の皆様、お疲れ様でした。



記念写真



玉入れ風景

行事レポート

小原村の四季桜と紅葉見学

34期（健康A） 松栄 川瀬 月江

晩秋の11月24日（金曜日）参加者23名（男子11名、女子12名）、昭和消防署近くで集合し、9時25分出発しました。

出発後、車内は明るく楽しい会話と昼食の（特上うなぎ丼）の話題でもり上がり、笑い声が車内を占めていた。

ちょっと車窓に目を向けると街並みの変化と景色で旅人になった気分です。

その後グリーンロードに入り、まるで別世界のように車窓の景色も変化し、自然に恵まれた木々が風に吹かれ落葉のもの悲しい美しさに見とれながら目的地に向かう。

小原村は山里です、木々も人を拒絶する強さを表し、凛々しく立ち並び、川見（せんみ）四季桜は小声で人を呼び込んでくれそうな優しさを漂よいながら舞っています。



四季桜

紅葉は強く自己を主張し、（紅）の美しさを誇りに語りかける親近感を感じ、又（紅）の美には圧倒されました。

自然の変化は人間を人として生かし、心を豊かにし、又、他者を尊ぶ心を学ばせ、前に進む力を与えてくれます。

小原村も国際色豊かで諸外国の観光客を多く見かけ、平和を実感し、おのずと話題も多様化し声高になり気分も高揚します。蓬莱のあかり展を見学して、灯りの幻想

的な深く（無）の世界に迷い込み、心が奪われた感覚が胸に迫りました。

屏風の豪華で人が近寄りたがたい強さと威圧感を受け、唯々ぼんやり眺める。

扇子は余りの美しさに心が踊り、手足が動きだしそうな衝動に駆られる。タペストリーは迷いがなく自己の心を隠すのに適し、何か、（夢幻泡影）が胸中に去来します。昼食は（特上うなぎ丼）と（割子弁当）を囲んで23名の談話と交わりのある会話も少しアルコールが入り、ますます会話も増し、美味しい、と楽しい、の言葉に尽きる会食でした。

帰路は豆腐屋と卵屋により、男性の方々も奥様へのおみやげに沢山買い、女性も負けまいと買い込んで喜びの声を上げていました、何と言っても女性は買い物が好きですから。

四季桜や紅葉のように華やかではないが深い連帯意識が胸に刻まれ、昭和鯨城会の皆様との楽しい一時を心の宝とし。出発場所に到着4時25分です。

ちょっと雲が厚く薄暗くなっていますが、忘却することない楽しい1日を、手厚い計画と行動を実行されました行事委員の方々に感謝申し上げます。



散策風景



記念写真

行事レポート

桜花学園高校インターアクトクラブ との交流会に参加して

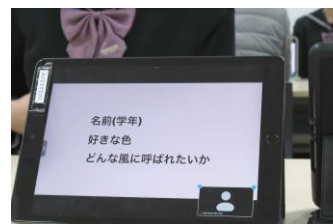
33期 (福祉) 広路 磯部 晴夫

令和6年1月27日(土)、毎年1月の恒例行事となる桜花学園生徒との交流会が本年も開催されました。

当会参加者は14名、生徒さんも同数の14名参加で各班(6班)に分かれてそれぞれ席に着きました。

まずは各班にて自己紹介から、名前、好きな色は、どんな風に呼ばれたいかなど、楽しい会話から始まりです。

続いて桜花学園インターアクトクラブの主な活動内容の紹介、そして当方、昭和鯨城会も高島会長より日頃の活動の紹介がありました。



自己紹介



高島会長から日頃の活動紹介

各テーブルに置かれたタブレットを使い、いよいよゲームの始まりです。

6班に分かれた各チーム得点の競い合いです。

まずは「60を言ったら負けゲーム」から始まりとても和やかな雰囲気

中「?に入る食べ物は何?」「言葉当てゲーム」などなど、そして最期に「絵しりとりゲーム」と続きました。

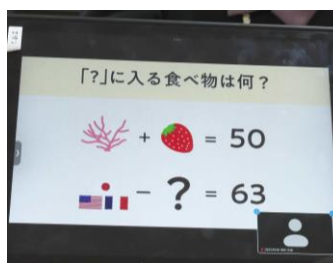
高齢の私たちにとってややハードルの高い(自分だけかも?)ゲームでありましたが、さすが生徒さんの中には、天才的に早い解答をする人がいてびっくりです。

あっという間の楽しい1時間半が過ぎ、最後に生徒さん交え参加者全員で記念写真を撮りお開きとなりましたが、何か少し若返ったように感じたのは自分だけでしょうか?

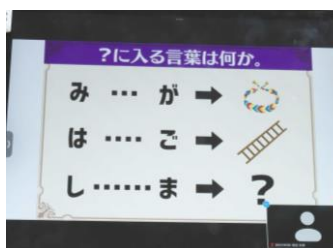
桜花学園生徒の皆さんありがとうございました。



インターアクトクラブの活動紹介



「?」に入る食べ物は何?



言葉当てゲーム



記念写真



絵しりとりゲーム

鯨城会活動

地域ミーティングの開催

33期（生活A）川原 山田 浩

鯨城学園では、卒業後に区鯨城会への加入など地域での活動を促進するため、年3回地域ミーティングを実施している。秋には鯨城学園で38期生(1年生)と37期生(2年生)に、2年生には卒業間近の令和6年初めにも区会説明会が開かれ、昭和鯨城会からは、会長及び各委員長などが参加して入会の勧誘に努めた。

1、38期生(1年生)地域ミーティング

11月17日(金)、健福Bクラス1年生に対して、高島会長から鯨城会と昭和鯨城会の活動概要を説明し、卒業後、是非区の鯨城会に入会して、学園での学習と自主活動の成果を「社会参加活動」に結びつけてほしい旨説明した。

更に、当方の説明に続いて昭和区社会福祉協議会も同職員から説明があった。なお、この活動は各区鯨城会が手分けして、全クラスを対象に実施している。



昭和社会福祉協議会の説明



鯨城会・昭和鯨城会活動の説明

2、37期生(2年生)地域ミーティング

11月29日(水)、昭和区在住の37期生(2年生)に行われ、対象26名中15名が参加した。これに昭和鯨城会は、会長及び委員長等6名が進行・記録役として加わった。

学務主任の説明及び昭和鯨城会会長の挨拶の後、2グループに分かれ、共通講座「地域活動学習発表会」や、地域・ボランティア活動に関する活発な意見交換が行われる中、昭和鯨城会は、区鯨城会の活動紹介や生徒の疑問に関する説明を行い、次年度での会への加入を勧誘した。



昭和鯨城会会長挨拶



グループでの意見交換

3、37期生に対する区会説明会

令和6年1月26日(金)、区会説明会が開催され、昭和鯨城会からも会長以下6名が参加して卒業間近の37期生(出席者17名)に対し、再度入会勧誘に努めた。



区会説明会の様子

会員の広場

昭和鯨城作品展に思う！

28期（地域） 広路 石黒 良江

今年は市政資料館で昭和鯨城作品展が開催されました。皆さんの力作に感動し自分の制作意欲をかきたてられるが、この頃は目はしょぼしょぼ忍耐力なくなってきました。

今年も来場者への記念品を28期女子の協力で作りました。記念品作りも3年目になり何を作ろうか思案し「フクロウ」に決まり10人で取り組みました。型紙で布の配合を考えながら布を切り、縫い合わせ、綿を摘み、目玉に鼻を付け、釣り紐をつけて155個出来上がりました。



幸せのフクロウ

飾りつけは仲間が街路樹で見つけてくれた枯れ木にするし豪華なオブジェになり歓声があがりました。

作品展会場では仲間が「フクロウ」意味を上手に解説してくれ、色紙にきれいな字を書いて、華を添えてくれました。素敵な仲間と共に今年も記念品が出来上がり感激でした。

お嫁にいった「幸せのフクロウ」は皆様に幸せをもたらしていることでしょう！



制作風景

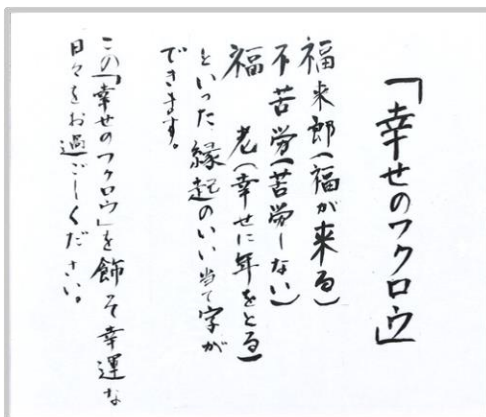


制作風景



会場にて

昭和こじょう会便り本号の表紙に、作品「幸せのフクロウ」が掲載されています。



幸せのフクロウの意味



制作メンバー

ボランティア報告

野外ボランティア活動

33期 (生活A) 御器所 片岡晴彦

令和5年度秋から冬にかけてのボランティア活動に関し報告します。
皆さん、ご参加ありがとうございました。

堀川清掃大作戦

11月18日(土)、堀川清掃大作戦が、オール鯉城500人弱で行われました。内訳は、鯉城学園学生280人、鯉城会160人、鯉城・堀川と生活を考える会30人、学園関係者5人です。そのうち昭和鯉城会からの参加者は9人です。昭和、熱田、瑞穂鯉城会は、白鳥橋の南にある南堀川端公園に集合しました。

実行委員会からトング、軍手、ビニール袋を支給され、開会の挨拶後、考える会の方の先導で白鳥橋から記念橋までの堀川右岸を往復、途中白鳥公園にも入りました。

去年と同じコースです。タバコの吸い殻、ペットボトル、コーヒーの缶などを拾って美化に貢献しました。

この日も天候に恵まれ、堀川岸をトング片手に清掃しながら散策するのはとても気分が良かったです。



参加者で一枚

荒畑花壇の植え替え

11月22日(水)、会員6名で荒畑花壇の植え替えを行いました。春のジニア(百日草)と千日紅から、秋のパンジーへの植替えです。

「ゆめ緑道ごきそ」の方たちからパンジーの苗72本を頂きました。このパンジーは川名公園の苗場で育てられたものです。まだ盛りのジニアと千日紅を泣く泣く取り除き、土を耕して化学肥料と石灰を混ぜました。葉がぐんぐん伸びるので窮屈にならないよう余裕をもって60苗を植え、残った12苗は当日のボランティア6人が2苗ずつ頂きました。

このパンジーは、12月になって少しずつ咲きだしました。



作業風景

私は昭和鯉城会のボランティアをする以前は、殆ど花に触れたことがありませんでした。ジニアとパンジーの開花期間、皆さんご存じですか？

ジニアは5～11月、パンジーは11～5月と、非常に長いです。



参加者で記念写真

この2種類を交互に植えれば年間ずっと花が楽しめます。

花を世話するのは大変だろうなって思っていたのですが、案外手間を掛けずに1年中楽しめるんですね。



パンジー

ジニア

クリーンパートナー

毎月1回第3水曜日に「クリーンパートナー」と称して御器所交差点と東郊通2丁目交差点間、約1.5kmの歩道の清掃を行っています。

1月17日(水)は会員9人が参加、朝はマイナス1度と震えるぐらい寒かったのですが、快晴で徐々に気温も上がり爽やかでした。いつものように荒畑の瑞雲保育園を起点に東西の二手に分かれて活動しました。

この日も大漁で「釣果」は下記です。

- ・吸い殻 520本
- ・空き缶 40本
- ・ペットボトル 10本
- ・スプレー缶 3本
- ・可燃ごみ 45リットル

喫煙人口の減少にもかかわらず、吸い殻が予想以上に多いです。「こら！捨てるな！」と言いたいです。少し汚いですが、リアルなゴミの写真をご覧ください。



スプレー缶、不燃ゴミ



参加者で記念写真



ペットボトル

空き缶

主要道路清掃

「主要道路清掃」は、年3回(2月、5月、11月)クリーンパートナーの清掃範囲を拡大して実施します。地下鉄鶴舞線沿線を荒畑～御器所、御器所～川名、川名～枳中、枳中～八事の4拠点に分け、それぞれの学区で分担します。

11月15日(水)は4拠点合計で15名が参加しました。



作業風景



参加者で記念写真

編集後記

113号は11月以降の活動報告や、参加者の方の準備作業を投稿いただき、また野外でのボランティア活動について、ボランティア委員長にまとめていただきました。

昭和鯉城会 「昭和こじょう会便り」 2024年3月113号

発行責任者 高島 善行

広報委員長 伏屋 満 副委員長 中村 誠司

広報委員 杉江 恵理子、川瀬 月江

表紙写真 「幸せのフクロウ」

石黒 良江、伊東和世、大河内早苗、加藤春子、近藤テル子、榊原寿々子、佐藤富士子、高橋正子、長谷川みや子、原田千里 女性10名(28期)
(6頁に関連記事あり)

名古屋市高年大学鯉城学園・昭和鯉城会共同発行